

事業番号	298
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	消防用設備・車両管理事業						担当部	消防本部							
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	消防総務課								
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		5 消防・救急		1 消防力を強化する									
		副目的														
	予算区分	款	9		項	1		目	1		大	3		中	2	
	根拠法令・個別計画	消防組織法・道路運送車両法														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	82 %			委託	18 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	消防車両等及び装備品を万全な状態で維持管理することにより、隊員の安全を確保する。														
	内容 (手段)	<p>○平成23年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車検整備(1回/2年)、法定点検(大型消防車4回/年・普通消防車2回/年)、救助工作車クレーン部年次点検、空気呼吸器保守点検、耐電衣電圧検査、防毒衣及び化学防護服気密検査を実施する。</li> <li>・消防車両及び資機材についても日常点検及び月例点検を実施する。</li> <li>また、梯子車については専門技術者による保守点検(1回/年)を実施する。</li> <li>・指令台等保守管理、無線機保守管理委託及び消防設備保守管理委託。</li> </ul> <p>その他財源: 諸収入 自動車・建物損害災害共済金等</p> <p>【直接経費の内訳】</p> <p>需用費: 28,517千円(消耗品費: 920千円 燃料費: 6,779千円 修繕料(車検整備等): 20,816千円(内、梯子車の専門業者による保守点検: 748千円))</p> <p>指令台等保守管理委託等: 14,840千円 公課費: 1,367千円</p> <p>【その他財源】</p> <p>諸収入: 自動車損害賠償保険金: 414千円</p> <p>○平成24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容については、平成23年度と同様に実施する。</li> </ul>														
受益者負担	無															

コスト	費用			単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額
		直接経費		千円	53,192	46,875	71,823	51,567
費用	正職員	従事者数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	
		人件費	千円	10,638	10,638	10,638	10,638	
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
		人件費	千円	0	0	0	0	
費用合計		千円	63,830	57,513	82,461	62,205		
対前年比		%		90.1	143.3	75.4		
財源	一般財源		千円	63,439	57,408	81,992	62,105	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	391	105	469	100	

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	績	日常点検回数	回	目標	365	365	365
実績				365	365	365	
月例点検回数		回	目標	24	24	24	24
			実績	24	24	24	
車両保守点検		回	目標	94	94	94	94
			実績	92	92	92	
成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24	
公務災害発生件数	件	目標	0	0	0	0	
		実績	0	0	1		
車両修繕件数	件	目標	—	—	—	—	
		実績	31	38	34		

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	計画どおりに定期的な点検を実施し、消防車両及び装備品を万全な状態で維持管理。 公務災害発生件数は「1」に留まった。				
		事業実施における課題等	経年劣化等を考慮し、日常的な点検を実施するとともに、効率的な保守、改修等計画の策定を行わなければならない。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	事業を廃止することにより消防車両及び装備品の維持管理ができなくなり安全管理上、問題が生じる。 法定点検については、廃止すると法令違反となる。				
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持				
		判定理由	現状どおり事業を継続することにより、消防車両及び装備品を万全な状態で維持管理ができ、円滑な消防活動につながるため。				
		改善案等	経年劣化等を考慮し、日常的な点検を実施するとともに、効率的な保守、改修等計画の策定を行う。				

二次評価	方向性の判定	判定理由				
	現状維持	一次評価のとおり。				